

氷川神社  
社報 第五号



奉祝 天皇陛下御即位三十年

# 武蔵一宮



# 奉祝 御即位三十年(一)

本年は厳しい寒さのあと、例年  
にない暖かな気候となったため、  
大宮公園の桜は三月十九日に開花  
宣言され、数日のうちに満開とな  
りました。桜の花は米づくりの国、  
日本にあつては予祝<sup>\*</sup>であり、大変  
喜ばしい兆であります。

さて、平成三十一年四月三十日  
をもちまして今上陛下は御譲位、  
五月一日より新たな御代の幕が上  
がりますが、改めて陛下の大御心  
と残り一年となりました平成の御  
代について顧みたいと思います。  
※吉事を願い予め祝う事

## 第百二十五代天皇として御即位

今上陛下は昭和六十四年一月七  
日、昭和天皇崩御後、「劍璽等承継  
の儀」が行われ、御即位されました。  
即位の礼は平成二年十一月十二日  
に執り行われ、正殿の儀には三権  
の長や国会議員、各国からの賓客  
等約二千二百人が参列致しました。  
御即位後の朝見の儀において「大



昭和38年

行天皇の御遺徳に深く思いをいた  
し、いかなるときも国民とともに  
あることを念願された御心を心と  
しつつ」と、昭和天皇を指針に国  
民に心を寄せられる事をお誓いに  
なされました。

※崩御後、追号が贈られるまでの呼称

## 昭和の二度の御参拝と

### 平成五年の御親拝

天皇としてのお務めは四方拝や  
新嘗祭などの宮中祭祀の奉仕、閣  
議決定された書類への御署名や御  
押印などの御執務、親任式や勲章  
親授式、お茶会や園遊会等の式典  
や催し、諸外国訪問や賓客のお迎



昭和62年

えと膨大な量にのびります。それ  
だけではなく陛下は全国の人々と  
ふれあうべく皇后陛下と行幸啓さ  
れております。陛下は平成十五年  
の鹿児島県御訪問、皇后陛下は平  
成十六年の香川県御訪問で四十七  
都道府県すべての行幸啓を果たさ  
れました。当社へは皇太子殿下で  
あらせられた昭和三十八年と  
六十二年に御参拝を頂き、また平  
成五年の埼玉県行幸啓の際に御親  
拝を頂いております。

## 被災地へのお見舞い

常に国民をお気遣いになる両陛



平成5年

下。平成三年の雲仙・普賢岳噴火  
や平成七年の阪神淡路大震災、平  
成十六年の新潟県中越地震、平成  
二十三年の東日本大震災等、災害  
発生の折には現地に赴かれ犠牲者  
を悼み、被災者はもとより救援活  
動に携わる人々を励まされており  
ます。特に東日本大震災の被災地  
である福島県、宮城県、岩手県、  
青森県にはその後も復興状況を御  
視察にいられております。画面を  
通しても伝わる大御心、これは平  
時より国民の安寧を祈られる両陛  
下だからこそ、被災者だけでなく  
国民皆の心に暖かく染み入るのだ  
と拝察致します。

社頭往来

歳旦祭

一月一日午前七時、歳旦祭を執り行いました。年頭にあたり一年の国家安泰、五穀豊穰、氏子崇敬者の繁栄を謹んで御祈願致しました。御社頭は約百万人の参拝者で賑わいました。



日供始祭

一月二日午前八時、日供始祭を執り行いました。日供始祭は境内の摂末社十三社の御扉を開き神饌をお供え致します。二日も約六十五万人の参拝者で賑わいました。



元始祭

一月三日午前八時、元始祭を執り行いました。元始祭は神武天皇以来の皇統の安寧を祈ぎ、皇室の益々の隆盛と弥栄を祈るお祭りです。祈念した太玉串は畏き辺りに謹上致しました。三日の参拝者は約五十五万人で、三が日の合計は約二百二十万人でした。



献詠祭併せ成人祭

一月十五日午前十時、献詠祭に併せ成人祭を行いました。例年一月の兼題は宮中歌会始の兼題で、本年は「語」と題し八雲会会員の和歌が奏上されました。平成三十年のさいたま市の新成人は、昨年より百三十三人多い一万三千二百四十人でした。これより先の御活躍をお祈り申し上げます。

婚礼展示会

一月二十八日午後一時より四時まで呉竹荘において婚礼展示会が開催され、三十五組の方々に御来場を頂きました。



節分祭

二月三日午前十時、除災招福、



一年間の無病息災を祈願し、節分祭を執り行いました。祭典中、楼門内舞殿にて弓の弦を鳴らす鳴弦の儀を行い、厄を祓いました。また、十二時半の式では古くから当社で豆撒きを行う如月会、二時の式では特別年男として落語家の柳家小袁治師匠、陸奥部屋力士、衆議院議員牧原秀樹様、大野総代会長始め責任役員、日本郵船氷川丸金谷船長、武蔵野銀行加藤頭取他地元名士、申し込みを頂いた年男男女、三時の式では氏子青年会により撒豆式を行いました。三度の撒豆式で撒いた豆は一〇〇キロにのばりました。土曜日、大安であった事も約一万人の参拝者で賑わいました。

社頭往来

的行事

二月七日午前九時半、特殊神饌として若菜御飯をお供えし、的行事を執り行いました。本殿祭典後、奉射式場にて祭員十二名、また作法指導を頂いた浅子好夫先生始めさいたま市弓道連盟の会員九名にて奉射の儀を行いました。



初午祭

二月七日午前十一時半、初午祭を境内の稲荷神社で執り行い



ました。御本社は伏見稲荷大社（京都府）で、御祭神が初午の日に稲荷山に降臨された事が初午祭の由緒です。鳥居の御奉納を頂いた方十三名に御参列を頂きました。



紀元祭

二月十一日午前十時、建国記念の日を寿ぐ紀元祭を執り行い、我が国の益々の繁栄と平和を祈願致しました。この日は初代天皇の神武天皇が橿原（奈良県）の地で御即位された日、神武天皇が即位された年が皇紀元年になります。祭典に先立ち橿原神宮を遥拝致しました。

献詠祭

二月十五日午前十時、献詠祭を執り行い「稲荷」を兼題として八雲会会員の和歌が奏上されました。



大宮アルティージャ必勝祈願

二月十六日午前九時半、大宮アルティージャの必勝祈願を行いました。



写真提供：大宮アルティージャ

祈年祭

二月十七日午前十時、祈年祭を執り行いました。祈年祭は「としごいのまつり」ともいい、五穀豊穡と国家安泰を祈るお祭りです。「とし」は稲のことで、稲は天照大御神から授けられた食物のため、特に神聖とされ、秋の収穫感謝の新嘗祭と対になる重要なお祭りです。

福神講

三月十日午前十時、大湯祭に出店する熊手商を中心とする福神講の祈願祭を執り行いました。



東日本大震災復興祈願雅楽演奏

三月十一日東日本大震災復興祈願雅楽演奏を行いました。午後二時四十六分より一分間の黙禱、その後、平調音取、越殿楽、豊栄の舞、浦安の舞を奉奏致しました。



献詠祭併せ郷神楽祭



三月十五日午前十時、献詠祭

に併せ郷神楽祭を執り行いました。三月は「流水」を兼題として八雲会会員の和歌が奏上されました。大成三丁目囃子連により祭典中には舞殿にて、祭典後は神楽殿にて神楽を奉奏致しました。



埼玉県神社御朱印展



三月十六日より四月十七日まで本殿西の仮設待合所にて、埼玉県神社庁教化委員会主催の県内神社御朱印展が開催されました。

春分祭

三月二十一日午前十時、敬神崇祖の誠心を御奉告する春分祭を執り行いました。宮中では春季皇霊祭が行われるにあたり、祭典前に宮中の皇霊殿を遙拝致しました。

埼玉県煎茶道連盟献茶式

三月二十五日午前十時、埼玉県煎茶道連盟の献茶式が行われ、勅使館随員の間、また呉竹荘にて茶席が設けられました。



正式参拝及び諸会議

(敬称略)

一月

四日 衆議院議員 枝野幸男

八日 靖国神社宮司

八日 さいたま市長 清水勇人

九日 NHK学園

十日 J A セレサ川崎末長支部

十二日 氏子総代評議員初祈禱祭

並びに互礼会

敬神婦人会

埼玉県神社庁

二十一日 解脱会埼玉教区女性部

二十八日 八街神社(千葉県八街市)

二十八日 東乙幡楽友会

三十一日 立正佼成会大宮教会

二月

四日 阿含宗埼玉道場

八日 浅間神社(山梨県笛吹市)

十二日 鎮花祭説明会

十三日 埼玉県神道青年会

十三日 北多摩神道青年会

十三日 NPO法人 岳易館 有宵会

二十日 諏訪八幡神社(飯能市)

二十一日 一都七県神社庁連合会

二十二日 栃木県神社庁

二十三日 全国防衛協会連合会青年部会

三月

五日 責任役員会、敬神講社理事

会、氏子総代会並評議員会

十五日 武蔵菊花会

院友神職会役員会

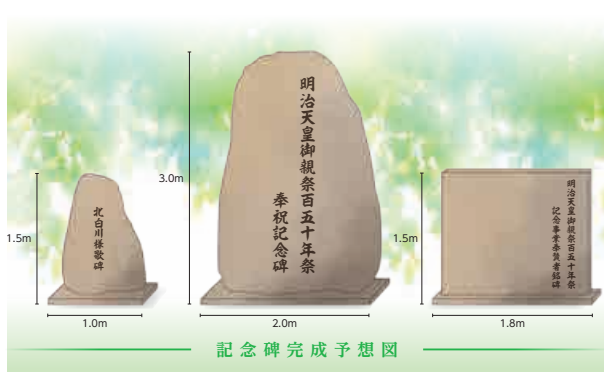
十八日 大宮高島屋

# 明治天皇御親祭百五十年大祭奉祝記念碑建立記念事業

明治天皇御親祭百五十年大祭を奉祝する記念碑建立及び記念事業におきましては、去る平成二十九年二月一日より募集を開始、平成三十年二月末日まで行いましたところ、法人個人問わず多くの御奉賛を賜りました。改めて赤誠に感謝申し上げます。記念事業と致しまして楼門内廻廊の敷石敷設を実施するにあたり、まず廻廊の照明をLED照明器具に取り換える工事をいたしました。



記念碑は奉祝記念碑、奉賛者銘碑、北白川様歌碑の三基を建立予定です。奉賛者銘碑には個人の方は五万円以上お納めの方のお名前、法人は十万円以上五十万円未満は会社・団体名のみ、五十万円以上は会社・団体名と代表者のお名前をお入れ致します。平成三十年度起工開始予定、次号より進捗状況を御案内して参ります。



百五十年記念事業の一環と致しまして末社稻荷神社の周辺を整備し遊歩道を造成致しました。これにあわせて須田美和子氏より鳥居の奉納を頂き、三月二十日に鳥居奉納奉告祭を執り行いました。

## 末社 稻荷神社の

### 整備を致しました



記念碑建立事業奉賛者御芳名 平成二十九年十二月〜平成三十年二月

奉賛金の受付を開始して以降、多くの御篤志を頂戴致しております。ここに皆様の御芳名を御紹介し感謝を申し上げます。

※申込順、敬称略、お名前等の誤りがございましたら御容赦願います。また、前号までに御紹介のありません方は今号で御紹介させて頂いております。

法人

- 二百万円
  - 武蔵一宮氷川神社敬神講社
  - 講長 大野隆司(他講員一同)
- 五十万円
  - 株式会社鯉平
  - 株式会社武蔵野銀行
  - 取締役頭取 加藤喜久雄
- 十万円
  - 今羽町氏子中
  - 株式会社清水美容室
  - ひがメンタルクリニック
  - 有限会社大和ハッピー・ケア・サービス
  - 膝子八幡神社氏子一同
  - アヅミ産業株式会社
  - 調神社
  - 片倉工業株式会社
  - 有限会社駒形総建
  - 株式会社ヤオイ
  - 和光市新倉氷川八幡神社
  - 中央建設協同組合
  - 八光流柔術総本部道場
- 五千元
  - 寿能町一丁目氏子会

個人

- 百万円
  - 馬場 福治
  - 美枝子
- 七万円
  - 大河内和江
- 六万円
  - 普川 嘉則
- 四万円
  - 寺井 得也(朴堂)
  - 信子
  - 中村 華子
  - 堀川 直美
  - 堀川 佳哉
  - 堀川 和哉
  - 堀川 賢
  - 堀川 修
  - 堀川 卓也
  - 堀川 一男
  - 田島 昭子
  - 内藤 昭子
  - 亀田 義行
  - 黒須 葉太
  - 黒須 正陸
  - 黒須 慶子
  - 菅原 光白
  - 菅原 慶子
  - 菅原 茂行
  - 関根 茂行
  - 加藤 実
  - 小島 洋子
  - 吉本とし子
  - 金丸 千晶
  - 斎藤 孝次
  - 古賀 紀満
  - 古賀 光子
  - 関根 進
  - 松井 京子
  - 大野 尚美
  - 松永 鶴喜
  - 大河内和江
  - 岡村 秀俊
  - 湊 敬子
  - 大和田信久
  - 近内 恵子
  - 喜田 豊
  - 小幡 朋子
  - 山田 敦
  - 小林みどり
- 三万円
  - 奥富 雅雄
  - 森田 友之
  - 岩波 理豊
  - 戸山 勝機
  - 神藤 照子
  - 松本 昇
  - 細沼 秀夫
  - 竹越 功
  - 榊原 和夫
  - 加藤かおり
  - 吉野 理貴
  - 福田 貞夫
- 二万円
  - 磯野 圭市
  - 内藤 行雄
  - 菅原 光白
  - 黒須 慶子
  - 黒須 正陸
  - 黒須 葉太
  - 黒須 正陸
  - 菅原 光白
  - 菅原 慶子
  - 菅原 茂行
  - 関根 茂行
  - 加藤 実
  - 小島 洋子
  - 吉本とし子
  - 金丸 千晶
  - 斎藤 孝次
  - 古賀 紀満
  - 古賀 光子
  - 関根 進
  - 松井 京子
  - 大野 尚美
  - 松永 鶴喜
  - 大河内和江
  - 岡村 秀俊
  - 湊 敬子
  - 大和田信久
  - 近内 恵子
  - 喜田 豊
  - 小幡 朋子
  - 山田 敦
  - 小林みどり
- 一万円
  - 磯野 圭市
  - 内藤 行雄
  - 菅原 光白
  - 黒須 慶子
  - 黒須 正陸
  - 黒須 葉太
  - 黒須 正陸
  - 菅原 光白
  - 菅原 慶子
  - 菅原 茂行
  - 関根 茂行
  - 加藤 実
  - 小島 洋子
  - 吉本とし子
  - 金丸 千晶
  - 斎藤 孝次
  - 古賀 紀満
  - 古賀 光子
  - 関根 進
  - 松井 京子
  - 大野 尚美
  - 松永 鶴喜
  - 大河内和江
  - 岡村 秀俊
  - 湊 敬子
  - 大和田信久
  - 近内 恵子
  - 喜田 豊
  - 小幡 朋子
  - 山田 敦
  - 小林みどり
- 七千円
  - 寺井 得也(朴堂)
  - 信子
  - 中村 華子
  - 堀川 直美
  - 堀川 佳哉
  - 堀川 和哉
  - 堀川 賢
  - 堀川 修
  - 堀川 卓也
  - 堀川 一男
  - 田島 昭子
  - 内藤 昭子
  - 亀田 義行
  - 黒須 葉太
  - 黒須 正陸
  - 黒須 慶子
  - 菅原 光白
  - 菅原 慶子
  - 菅原 茂行
  - 関根 茂行
  - 加藤 実
  - 小島 洋子
  - 吉本とし子
  - 金丸 千晶
  - 斎藤 孝次
  - 古賀 紀満
  - 古賀 光子
  - 関根 進
  - 松井 京子
  - 大野 尚美
  - 松永 鶴喜
  - 大河内和江
  - 岡村 秀俊
  - 湊 敬子
  - 大和田信久
  - 近内 恵子
  - 喜田 豊
  - 小幡 朋子
  - 山田 敦
  - 小林みどり
- 六千円
  - 寺井 得也(朴堂)
  - 信子
  - 中村 華子
  - 堀川 直美
  - 堀川 佳哉
  - 堀川 和哉
  - 堀川 賢
  - 堀川 修
  - 堀川 卓也
  - 堀川 一男
  - 田島 昭子
  - 内藤 昭子
  - 亀田 義行
  - 黒須 葉太
  - 黒須 正陸
  - 黒須 慶子
  - 菅原 光白
  - 菅原 慶子
  - 菅原 茂行
  - 関根 茂行
  - 加藤 実
  - 小島 洋子
  - 吉本とし子
  - 金丸 千晶
  - 斎藤 孝次
  - 古賀 紀満
  - 古賀 光子
  - 関根 進
  - 松井 京子
  - 大野 尚美
  - 松永 鶴喜
  - 大河内和江
  - 岡村 秀俊
  - 湊 敬子
  - 大和田信久
  - 近内 恵子
  - 喜田 豊
  - 小幡 朋子
  - 山田 敦
  - 小林みどり
- 五千円
  - 寺井 得也(朴堂)
  - 信子
  - 中村 華子
  - 堀川 直美
  - 堀川 佳哉
  - 堀川 和哉
  - 堀川 賢
  - 堀川 修
  - 堀川 卓也
  - 堀川 一男
  - 田島 昭子
  - 内藤 昭子
  - 亀田 義行
  - 黒須 葉太
  - 黒須 正陸
  - 黒須 慶子
  - 菅原 光白
  - 菅原 慶子
  - 菅原 茂行
  - 関根 茂行
  - 加藤 実
  - 小島 洋子
  - 吉本とし子
  - 金丸 千晶
  - 斎藤 孝次
  - 古賀 紀満
  - 古賀 光子
  - 関根 進
  - 松井 京子
  - 大野 尚美
  - 松永 鶴喜
  - 大河内和江
  - 岡村 秀俊
  - 湊 敬子
  - 大和田信久
  - 近内 恵子
  - 喜田 豊
  - 小幡 朋子
  - 山田 敦
  - 小林みどり
- 四千円
  - 寺井 得也(朴堂)
  - 信子
  - 中村 華子
  - 堀川 直美
  - 堀川 佳哉
  - 堀川 和哉
  - 堀川 賢
  - 堀川 修
  - 堀川 卓也
  - 堀川 一男
  - 田島 昭子
  - 内藤 昭子
  - 亀田 義行
  - 黒須 葉太
  - 黒須 正陸
  - 黒須 慶子
  - 菅原 光白
  - 菅原 慶子
  - 菅原 茂行
  - 関根 茂行
  - 加藤 実
  - 小島 洋子
  - 吉本とし子
  - 金丸 千晶
  - 斎藤 孝次
  - 古賀 紀満
  - 古賀 光子
  - 関根 進
  - 松井 京子
  - 大野 尚美
  - 松永 鶴喜
  - 大河内和江
  - 岡村 秀俊
  - 湊 敬子
  - 大和田信久
  - 近内 恵子
  - 喜田 豊
  - 小幡 朋子
  - 山田 敦
  - 小林みどり
- 三千円
  - 寺井 得也(朴堂)
  - 信子
  - 中村 華子
  - 堀川 直美
  - 堀川 佳哉
  - 堀川 和哉
  - 堀川 賢
  - 堀川 修
  - 堀川 卓也
  - 堀川 一男
  - 田島 昭子
  - 内藤 昭子
  - 亀田 義行
  - 黒須 葉太
  - 黒須 正陸
  - 黒須 慶子
  - 菅原 光白
  - 菅原 慶子
  - 菅原 茂行
  - 関根 茂行
  - 加藤 実
  - 小島 洋子
  - 吉本とし子
  - 金丸 千晶
  - 斎藤 孝次
  - 古賀 紀満
  - 古賀 光子
  - 関根 進
  - 松井 京子
  - 大野 尚美
  - 松永 鶴喜
  - 大河内和江
  - 岡村 秀俊
  - 湊 敬子
  - 大和田信久
  - 近内 恵子
  - 喜田 豊
  - 小幡 朋子
  - 山田 敦
  - 小林みどり
- 二千円
  - 寺井 得也(朴堂)
  - 信子
  - 中村 華子
  - 堀川 直美
  - 堀川 佳哉
  - 堀川 和哉
  - 堀川 賢
  - 堀川 修
  - 堀川 卓也
  - 堀川 一男
  - 田島 昭子
  - 内藤 昭子
  - 亀田 義行
  - 黒須 葉太
  - 黒須 正陸
  - 黒須 慶子
  - 菅原 光白
  - 菅原 慶子
  - 菅原 茂行
  - 関根 茂行
  - 加藤 実
  - 小島 洋子
  - 吉本とし子
  - 金丸 千晶
  - 斎藤 孝次
  - 古賀 紀満
  - 古賀 光子
  - 関根 進
  - 松井 京子
  - 大野 尚美
  - 松永 鶴喜
  - 大河内和江
  - 岡村 秀俊
  - 湊 敬子
  - 大和田信久
  - 近内 恵子
  - 喜田 豊
  - 小幡 朋子
  - 山田 敦
  - 小林みどり
- 一千円
  - 寺井 得也(朴堂)
  - 信子
  - 中村 華子
  - 堀川 直美
  - 堀川 佳哉
  - 堀川 和哉
  - 堀川 賢
  - 堀川 修
  - 堀川 卓也
  - 堀川 一男
  - 田島 昭子
  - 内藤 昭子
  - 亀田 義行
  - 黒須 葉太
  - 黒須 正陸
  - 黒須 慶子
  - 菅原 光白
  - 菅原 慶子
  - 菅原 茂行
  - 関根 茂行
  - 加藤 実
  - 小島 洋子
  - 吉本とし子
  - 金丸 千晶
  - 斎藤 孝次
  - 古賀 紀満
  - 古賀 光子
  - 関根 進
  - 松井 京子
  - 大野 尚美
  - 松永 鶴喜
  - 大河内和江
  - 岡村 秀俊
  - 湊 敬子
  - 大和田信久
  - 近内 恵子
  - 喜田 豊
  - 小幡 朋子
  - 山田 敦
  - 小林みどり

## 氷川参道紹介



### 氷川参道の歴史

さいたま新都心駅すぐ近くを起点として、南北二キロにわたる当社の参道は、往時より中山道の一部でした。大宮は当社を大いなる宮居と称えた事に由来する門前町でした。宿駅としての大宮は寛永五年（一六二八）、幕府の関東郡代であった伊奈忠治が一の鳥居西側の野原を開拓させ、現在の中山道を開通、参道沿いの百姓家を移転させた事で成立しました。

### 戦後く平成

参道に大きな変化が起きたのは昭和二十年、敗戦により大宮駅前には闇市が出来ましたが、復興計画の障害となる為、旧大宮市・大宮警察・氷川神社の三者の合意によって、一年間の約束で参道の中央通りく旧十六号間に移転致しました。しかしその後四十年余り地区内に不法に留まり、百六十四戸の住居と店舗が残りました。そこで昭和六十年から神社境内地を地上権設定により市に貸与して氷川地区整備事業が始まり、仮住まいだった住民たちは別に用意した住宅などへ移転し、跡地は市が緑地公園（延長約四百二十m、面積一・四ha）として整備しました。中央の遊歩道には御影石を敷き詰め、両側の緑地帯にはケヤキ、エノキ、シイを主体に植栽し、散策路やせせらぎも設けました。更に緑地帯の両側に、一方通行の車道と片側歩道を作りました。整備は平成元年七月に完成して「平成ひろば」と名づけられました。



写真協力 さいたま市広報課



美しい参道の為に

氷川参道は様々な樹木で構成され訪れる人々にやすらぎと癒しを与えてくれます。しかしながら枯れ枝や落ち葉、ゴミ等は参道の景観を損ねます。参道を愛し、過去三年間に清掃活動を頂きました皆様の御芳名を御紹介し、謹んで御篤志に感謝申し上げます。

氷川の杜まちづくり協議会は参道緑地への低木植栽等、氷川参道を守り、将来につなげる為の活動を行っております。お問い合わせは事務局048-646-3122まで

参道清掃団体(五十音順、敬称略)

- ・ 阿含宗埼玉道場
- ・ 大宮明るい社会づくりの会
- ・ 大宮北小学校
- ・ さいたま市ジョブアシスト事業
- ・ 埼玉PHPほんとうの時代 友の会
- ・ 高鼻町二丁目自治会 友の会
- ・ 大和ハウス工業株式会社
- ・ 氷川ほたるの杜
- ・ 武蔵コーポレーション株式会社
- ・ 武蔵野銀行

参道清掃のお申し出、お問い合わせは社務所までお願い致します。



神道青年会献木事業

二月十三日、県内の四十五歳以下の神職で構成する埼玉県神道青年会の嶋田土支彦会長始め二十三名により三の鳥居付近に植樹を頂きました。神青会では植樹以外にも様々な事業を行っております。詳しくは神青会フェイスブックを御覧下さい。



埼玉県神道青年会

<https://ja-jp.facebook.com/saitamashinto/>

献木協賛のお願い

当社では楼門内にて献木の募財をお願いしており、時期は不定ですが神域、また参道に植樹を行っております。



阿含宗埼玉道場様



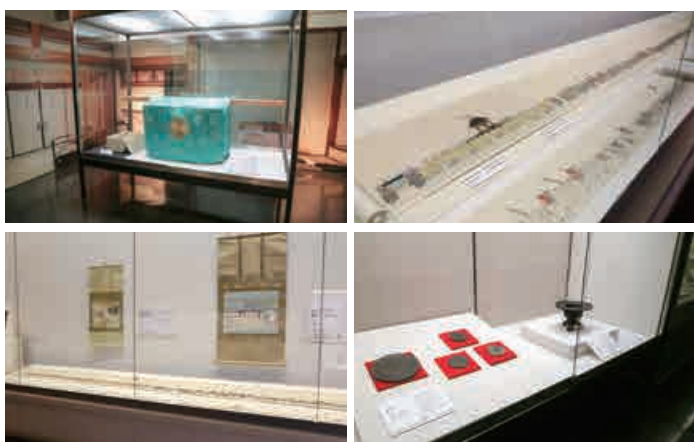
武蔵コーポレーション様

# 特別展 明治天皇と氷川神社



本年は明治百五十年にあたり、一月二日より二月十二日まで隣接する大宮公園内、県立歴史と民俗の博物館にて特別展「明治天皇と氷川神社―行幸の軌跡―」が開催されました。明治天皇の東幸や、当社行幸にいたる途次、当社や地域に残された様々な歴史資料、さらには明治天皇ゆかりの貴重な品々が展示されました。関連事業と致しまして一月二十四日には十時、十一時、十四時、十五時に勅使齋館を特別公開、また二月四日十四時から十五時半まで歴史と民俗の博物館講堂にて東角井権宮司が「武蔵一宮氷川神社の歴史と明治天皇御親祭」と題し講演会を行いました。

た。その他、神奈川県立公文書館の樫田有希子氏の講演「明治天皇の東幸と民衆」、学芸員による展示解説、中村陽平学芸員の歴史民俗講座「氷川神社行幸〜地域は大忙し〜」などが行われ、期間内の来館者は約七千名でした。



当社蔵 明治天皇御料 鳳凰置物



明治神宮蔵 明治天皇御料 大和鞍



甲斐國一宮淺間神社蔵 黄櫨染御袍



勅使齋館特別公開



権宮司講演

### 神社会館

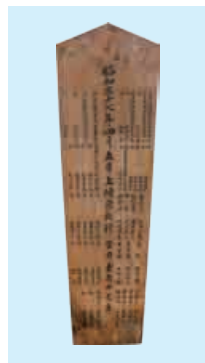
神社会館は昭和三十三年に設立された明治天皇御親祭百年祭奉祝委員会と、埼玉県神社庁が昭和三十七年に共同で入札、買収した川越税務署であった建物を移転改築したものです。この建設事業は埼玉県神社庁設立十五周年記念事業として実施されたもので、当時の庁長は川越氷川神社山田勝利宮司でした。また氷川神社が共同で行ったのは崇敬会館も兼ねるといふ諒解のもとで行われました。地鎮祭は昭和三十七年二月二十五日、上棟祭は同年四月五日、竣功祭は七月二十五日に執行されました。以来、神社会館は埼玉県における神道センターとして、神社庁の事業を行うとともに神宮奉賛会埼玉県本部、氷川神社奉賛会、埼玉県神社氏子総代連合会、埼玉県氏子青年会、同婦人会、同神社ボーイスカウト連合会等諸団体の事務局が併置され活動の拠点となつてまいりました。また昭和期の最盛期には年間千五百件にのぼる御婚儀があり、披露宴は呉竹荘の他、社務所、勅使館、神社会館でも行っておりました。



地鎮祭 齋主 東角井光臣宮司



竣功記念に配布された八十四扇静郷筆扇面  
作：新橋米助  
(騎西町玉敷神社祓宣)



上棟祭棟札



神社会館は老朽化、また東日本大震災以降耐震構造に不安があり、建て直しの声が上がっておりました事もあり、新たに埼玉県神社庁が建設されました。神社会館は役目を終え、取り壊しとなり平成三十年二月五日に取壊清祓式が斎行され、有限会社坂巻土建に発注、跡地は駐車場として運用予定です。

### 神社会館取り壊し



昭和期の神社会館での披露宴  
写真協力：本島紋次郎氏

「土曜」  
第三十七回  
大宮  
TAKIe-NoHi

第1日目 5/25(金)  
第2日目 5/26(土)

開演時間 午後5時40分  
武蔵一宮氷川神社境内  
(雨天の場合は市民会館おみや大ホール)

主催：(公社)さいたま観光国際協会 お問い合わせ：048-647-8339

一月の奉納献華

古流松藤会  
池坊  
桂古流  
古流松藤会  
草月流  
桂古流  
草月流  
正風流一光会  
春草流

岩波理豊  
草谷智花  
小林華侑  
川嶋理智  
冲山草俊  
高橋典花  
竹下尚峰  
桐生一光  
栗原春彩

二月の奉納献華

古流松藤会  
池坊  
桂古流  
古流松藤会  
草月流  
桂古流  
草月流  
正風流一光会  
春草流

岩波理豊  
草谷智花  
小林華侑  
川嶋理智  
冲山草俊  
高橋典花  
竹下尚峰  
桐生一光  
栗原春彩

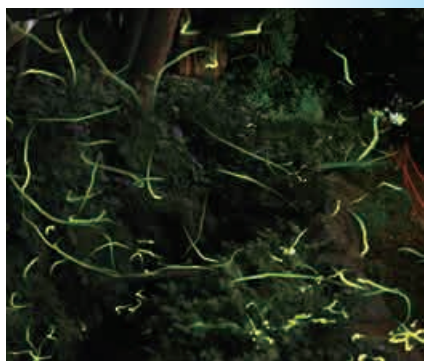
三月の奉納献華

池坊  
桂古流  
古流松藤会  
草月流  
桂古流  
草月流  
正風流一光会  
春草流

草谷智花  
小林華侑  
川嶋理智  
冲山草俊  
高橋典花  
竹下尚峰  
桐生一光  
栗原春彩

第四回  
氷川はたる  
鑑賞会

来る6月8日(金)、9日(土)「氷川はたるの杜」の皆様により第4回氷川はたる観賞会が開催されます。詳しくは同会ホームページをご参照下さい。



第六号は七月十五日発行予定です